

**日本睡眠歯科学会定期学術集会
招待講演およびシンポジウム抄録作成上の注意**

- 1) 抄録（例を参照ください）文字数は以下の通りです。

日本語のみ

演題名 全角 70 文字

抄録本文 全角 800 文字

英数字は半角、カタカナは全角をご使用ください。また、ローマ数字は使用できませんので、アルファベットの I、X、V を組み合わせて作字してください。

- 2) **利益相反（Conflict of Interest：COI）の開示について**演題登録にあたり、内容が利益相反に該当する場合、申告してください。基準は、「営利団体等から援助がある場合」とし、どの程度が援助にあたるかは発表者ご自身でご判断ください。COI の内容によってはプログラム委員会から詳細を照会されることがあります。**【記載例】**(a) この研究は〇〇会社の資金提供を受けた (b) 〇〇会社との共同研究である。(c)発表者は〇〇会社の経営者である。(d)この研究には〇〇会社から△△の測定に便宜を受けた。(e)この研究には〇〇会社から××物資の提供を受けた。(f)この研究は利益相反に該当しない。

- 3) **演題登録締切** 2014 年 8 月 29 日 17：00 必着です。①日本睡眠歯科学会定期学術集会演題登録チェックリスト、および②抄録、の 2 点をあわせて下記まで **E-mail** にてご提出ください。運営事務局より発表者の E-mail アドレスに演題受理が通知されます。もし E-mail での提出が困難な場合は、運営事務局までご連絡ください。

第 13 回日本睡眠歯科学会定期学術集会運営事務局

(学会事務局とは異なりますのでご注意ください)

日本睡眠歯科学会 第 13 回 定期学術集会 運営事務局
公益財団法人神経研究所附属睡眠学センター内 担当： 石川
〒151-0053
東京都渋谷区代々木 1-24-10 TS ビル 1 階
TEL：03-3374-9112 睡眠総合ケアクリニック代々木内

日本睡眠歯科学会 第 13 回 定期学術集会 運営事務局行

E-mail: suiminshika13@gmail.com

2014 年 7 月 31 日現在

① 登録チェックリスト

2014年 7月 31日 現在

講演形式： 特別講演 ・ 教育講演 ・ ランチョンセミナー

・ シンポジウム (シンポジウム名： 睡眠時無呼吸症の予防へ向けた課題)

講演演題名： 閉塞性睡眠時無呼吸症候群は予防できるか？

発表者名： 對木 悟

所属先： 公益財団法人神経研究所 附属睡眠学センター

連絡先： 〒151-0053 東京都渋谷区代々木 1-24-10 TS ビル 1 階

Email： ○○○@○○.com

Fax： 03-○○○○-○○○○

電話番号： 03-○○○○-○○○○

利益相反： あり ・ なし

特定の企業との金銭の授受等はない。本発表の一部は日本学術振興会科学研究費補助金 (XXXXX) によって支援を受けた。

② 抄録

抄録例（必要に応じて変更してお使いください）

閉塞性睡眠時無呼吸症候群は予防できるか？

○對木 悟^{1,2}

- 1) 公益財団法人神経研究所 附属睡眠学センター研究部
- 2) 東京医科大学 睡眠学講座

閉塞性睡眠時無呼吸症候群(**Obstructive Sleep Apnea Syndrome; OSAS**) の予防は、睡眠医療における重要なテーマの一つといえる。その理由は、**nCPAP**や口腔内装置など有効な治療法が広範に浸透しているものの、それらの効果が根本治療には至らず、長期通院に対する負担や予後についての不安など患者側からの現実的な問題が残されていることにある。

上気道の閉塞性は、歯列弓・上下顎骨など頭蓋顎顔面の硬組織の大きさと、その内側に存在する舌・軟口蓋などの軟組織量のバランスに大きく依存して決定され、その軟組織量を相対的に増大させる要因は**OSAS**発症のリスクを高める(**Isono 2004, Sleep Biol Rhythms**)。このことは、硬軟組織の良好なバランスの獲得・維持のためには、肥満にならないための指導と同時に、狭窄歯列弓の拡大や小児期からの下顎の成長誘導など硬組織に対する歯科的アプローチの有用性を示唆している。

OSASの発症因子は多様であるが、本講演では形態的な観点から**OSAS**の発生機序、治療、そして予防について検討し、その問題点についても模索してみたい。